

生まれ変わった二段口継手！ HQジョイント

●厚スラブにも対応可能な配管有効長

下部継手の配管有効長を長くし、350mmまでの厚スラブにも対応可能となりました。

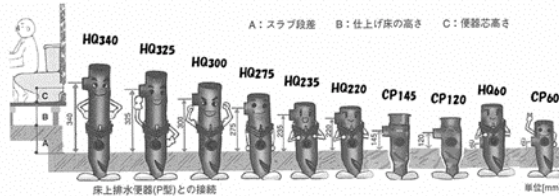
●制振リブで静粛性が向上

有効長が長くなった下部継手に制振リブを2条追加。スラブ貫通部に埋まる部位の剛性を高めました。より高い制振性を要求される場合は、床貫通部の防火防音措置工法ヒートメルサイレンスCPをご使用下さい。

●床排水S型・床上排水P型のいずれの便器にも接続可能

床排水便器(S型)の他、便器芯高さの異なる複数の床上排水便器(P型)との接続が容易にできます。

●床上排水便器(P型)との接続



HQ275K
100×80/0-6-0-0

HQ60K
100×80-65(L)

●超高層にも対応可能な高い排水性能

上部継手に新たに設けたガイドにより、排水を減速させた後、下部継手のガイドで確実な旋回流を形成します。

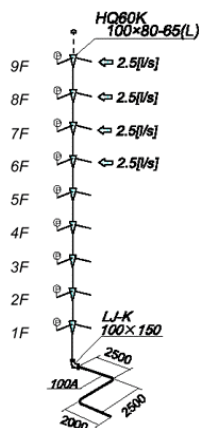
HQジョイントの設計用許容流量値 [l/s]

階数	20F	30F	40F	50F	60F
許容流量値	9.3	8.7	8.4	8.1	7.9

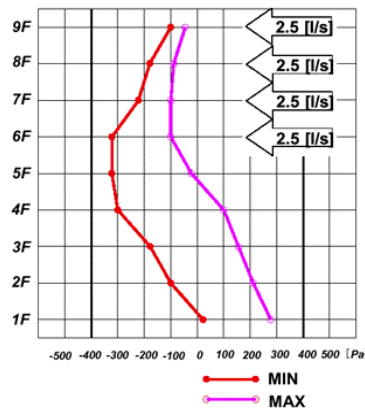
●実験条件

供試継手	HQ60K 100×80-65(L)
排水立て管径	100A
排水横主管径	150A (LJ-K100×150)
横主管形態	水平2曲がり (2,500mm+2,500mm+2,000mm)
排水負荷	定流量 10.0[l/s] (9F:2.5[l/s], 8F:2.5[l/s], 7F:2.5[l/s], 6F:2.5[l/s])
試験方法	SHASE-S 218 「集合住宅の排水立て管システムの排水能力試験法」に準拠

●実験結果



負荷 : 9F(2.5)+8F(2.5)+7F(2.5)+6F(2.5) 計 : 10.0 [l/s]



●引用文献

小島誠造・河村憲彦・馬場敦
 集合住宅用特殊継手排水システムに関する実験研究
 空気調和・衛生工学会中部支部 学術研究発表会 第6号 2005年3月